

第4章目指す暮らしを実現するための地域交通の姿（骨子案補足資料）

4.3 施策実施に必要な概算費用 算出根拠（万円）

項目	概算費用の内容	備考（対象路線等）	
		バス	鉄道
地域交通に既に投入されている公費負担額（収入補填、鉄道補助金等）	・国、県、市町の地域間幹線系統補助、フィーダー補助、コミバス運行補助（デマンド含む）、運行委託・その他補助金の計	計165路線（全267路線の内数）	
	・信楽高原鉄道補助金投入額、近江鉄道補助金投入額		近江鉄道線 信楽高原鉄道線
人口減少等による利用者数の減少に伴う運賃収入減少分の補填額	・人口減少を加味した鉄道・バス利用者数推計と現状の鉄道・バス利用者との差から算出した運賃収入減少分	計265路線 △1,682万円 以下、例示 大津・湖南地域 南草津立命線（△5,169）、野洲村田線（1,241） 甲賀地域 土山本線（386）、湖南サンライズ線（29） 東近江地域 日八線（1,025）、八幡アウトレット線（201） 湖東地域 南彦根県立大学線（△356）、多賀線（381） 湖北地域 近江長岡線（208）、米原工業団地線（102） 高島地域 朽木線（392）、マキノ高原線（92）	計239,026万円 JR西日本 湖西線、草津線、北陸本線 近江鉄道線 信楽高原鉄道線

項目	概算費用の内容	備考（対象路線等）	
		バス	鉄道
鉄道・バスの運行本数増便/最終便・終電の繰り下げ（施策④⑤⑥）	1時間あたりの現行運行本数分と望ましい運行本数の差分の増便を行う場合に必要となる①+②-③ ①運行本数を確保するために必要な運行経費増額分 ②①に必要な車両購入費・人件費増額分 ③増便に伴う利用者増による運賃収入増額分	バス 計168路線 386,978万円 以下、例示 大津・湖南地域 レイカディア線（南草津医大線）0.6/h→4/h 1,791 甲賀地域 湖南野洲線 1.6/h→4/h 2,526 東近江地域 日八線 2.3/h→4/h 4,410 湖東地域 彦根ベルロード線 0.2/h→2/h 1,498 湖北地域 近江長岡線 1.1/h→2/h 534 高島地域 湖西地域新設バス（マキノ～堅田駅）2/h 7,640	計249,700万円 JR西日本 1～2/h→2～3/h （湖西線、草津線、北陸本線） 近江鉄道線 本線 2/h→4/h 八日市線 3/h→4/h 多賀線 2/h→3/h 信楽高原鉄道線 1/h→2/h
運行本数が少ないバス路線のデマンド化、日本版ライドシェア、新モビリティ（自動運転バス等）（施策⑨⑩）	・運行本数が1本/時間以下のバス路線をデマンド化した場合の収支改善額	バス 計67路線 31,118万円 以下、例示 大津・湖南地域 笠縫東常盤線（常盤循環） 893 甲賀地域 大河原線 351 東近江地域 甲津畑線 424 湖東地域 城北・大藪線 741 湖北地域 金居原線 449 高島地域 針畑線 1,024	
上記以外の施策（スライドp.9,10）	サブスク、エリア運賃導入 ボランティア輸送支援 自動運転実証 MaaS等の新たな仕組み導入など	ビジョン第6章 県民が理想として望む地域交通の実現に向けて実施が考えられる施策一覧 より	